



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



7月28日、准組合員を対象にした「地域農業応援団」の2回目が行われ、スターチスの収穫・フラワーアレンジメントの体験が行われた。

→記事の詳細は3ページ

JAきたそらちでは、
ホームページとFacebookで、
魅力満載の情報を発信中です！
ぜひ、ご覧ください！

ホームページ



Facebookもチェック



目次

- 北竜町ひまわりメロン・すいか直売会…………… 2
- 「JAきたそらち地域農業応援団」第2回応援団会議… 3
- 令和3年度 新規就農者激励状贈呈式…………… 5
- ホクレンショップ休業のご案内…………… 10

2021 うりゅう特産品フェア 開催

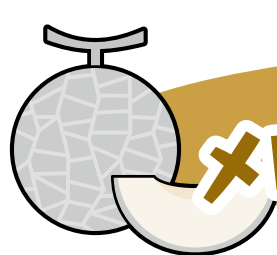
7月31日、雨竜町道の駅「田園の里うりゅう」に隣接する、当JA雨竜野菜集出荷施設・雨竜町ライスコンビナートで「2021うりゅう特産品フェアドライブスルー即売会」が開催された。

同フェアは毎年この時期に開催され、雨竜町の特産品の暑寒メロン、マダーボールスイカ、スイートコーン、花きを出荷最盛期に提供し、地域を盛り上げることを目的としている。例年では対面販売を行っていたが、昨今の状況をふまえ昨年から「ドライブスルー方式」での開催としており、来場者は車に乗ったまま注文・精算・商品の引渡し・宅配の依頼を行う。

当日は特価で購入することができるということもあり、来場車数は140台で、開始1時間半ほどで売り切れる品目が出るほど大盛況となった。

来年度はドライブスルー方式か対面方式か等は未定だが、安全に行えることを第一に考えてイベントを実施する予定。

【雨竜支所 佐野】



北竜町 メロン・すいか直売会



毎年お盆時期に、北竜野菜集出荷施設前で開催される「北竜町メロン・すいか直売会」が今年も開催された。今年はメロンの生育が早く進み、例年通りの日程で販売することが難しいため、すいかと開催日を1週間ずらし、メロンは8月7日、すいかは8月14日に販売された。

町特産の「北竜ひまわりメロン」や「ひまわりすいか」が特価で販売されるため、両日ともに、多くの買い物客が訪れた。

今年も昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症対策として、販売担当者がマスクと手袋の着用を徹底し、会場内の至る所に消毒液が設置された。また買い物客が一度に20人ずつ入場となるように制限し、入場する際には手指を消毒するよう呼び掛けた。

買い物客は規格ごとに分けられた販売ブースに並び、糖度の高さや食べごろなどを聞きながら、好みのものを買求めた。夫婦で北竜ひまわりメロンを買いに来た女性は「人が多くて驚いた。あっという間に売れているのは本当に美味しいからだと思う。食べるのが今から楽しみ」と話された。

7日はメロン約500ケース、14日はスイカ約400ケースを準備し、どちらも好調な売れ行きで、開場から60分ほどで完売する規格もあった。



「JAきたそらち地域農業応援団」 第2回応援団会議



7月28日、准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第2回応援団会議が開催された。今回は団員12名が出席し、JA施設見学や花き収穫・フラワーアレンジメントの体験などを行った。

JA施設見学では、「広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設」にて小麦と大豆の荷受けから出荷までの説明を受け、説明の中で汚粒大豆はタピオカで綺麗にしていることを聞き、前回の応援団会議で学んだ、「無洗米を作る際に使われるタピオカと同じ」などと声があがった。その他、団員からは今年の干ばつによる影響や大豆の



保存方法等の質問が出された。また、「青果部野菜集出荷施設」にて胡瓜が人の手で一つひとつ箱詰めされていることに驚き、同施設に隣接する北空知広域連の「北育ち元気村花き集出荷施設」では、出荷前のスターチス等の様々な種類の花を觀賞するとともに、お盆時期で出荷のピークを迎えた花きの大量の箱を見て、感嘆の声を上げた。続いて「深川市多目的低温倉庫」を訪れ、JAが深川市と協定を結び管理し、災害時における市民のための防災備蓄品として、食料や水が同倉庫内に保管されていることについて学んだ。

昼食は、「レストラン空音（音江地区）」にて、深川産の人参や長芋、深川ポークなどの深川産の農畜産物をふんだんに使った料理を楽しんだ。

午後から深川支所音江地区渡邊滋典氏の圃場で、花き収穫・フラワーアレンジメント体験が行われた。初めに渡邊氏より、スターチスの人気色や、ドライフラワーを実際に見せていただきながら、スターチスの魅力を学んだ。その後、圃場に入りそれぞれ好きな色のスターチスを収穫し、選花作業を体験した。

参加した団員は、「災害が起きた際にも、ご飯や水などの備えがあることを知り安心した。」「地元の美味しいご飯を食べて、綺麗なお花も頂けて大満足」などと感想を述べた。



JAきたそらち女性大学 「カレッジあみていえ」1期生 第8講 開催



7月19日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」1期生の第8講が開催され、受講生22名が参加した。

今回は、「ふかがわポーク使用ソーセージ作り&ふかがわシードル工場見学」と題し、深川市特産のふかがわポークとリンゴの加工について学んだ。

ふかがわポークを使用したソーセージ作りでは、アグリ工房まあぶにて加工体験を行った。初めてソーセージを作る方が多く、簡単に見える作業だが、作る際に腸が破れないよう慎重に肉を詰めたり、自分好みの大きさでねじるなど丁寧な作業に真剣に取り組んでいた。

シードル工場の見学では、アップルランド山の駅おとえ 施設長の田中雅樹氏よりふかがわシードルの製造工程について動画を使用しながら説明していただいた。製造開始当初はりんごの芯や種も一緒に加工していたが現在は手作業で芯や種を取り除いたことで雑味の無い、洗練されたシードルになった。美味しさが評価され「ジャパンシードルアワード」などいくつもの賞を受賞している。限定商品などの味の違いを教えていただいたことで多くの参加者がシードルを購入し地産地消に貢献した。

参加者からは、「手作りのソーセージとシードルで暑さを吹き飛ばしたい」と久しぶりに会えた仲間達と笑いながら話していた。

【営農企画課 佐藤】



農業 振興部

JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」1期生 日帰り研修～JAきたそらちツアー～



8月6日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」1期生の第9講が開催され、受講生17名が参加した。今回は、「日帰り研修～JAきたそらちツアー」と題し、雨竜・北竜・幌加内の施設見学やそれぞれ町の特徴と魅力について学んだ。

幌加内町では、農産物処理加工施設「そばの実工房」、そば乾燥調製施設「そば日本一の牙城」、農産物低温貯蔵施設「雪乃御殿」の施設見学を行った。そばの実工房では、玄そばの殻を取り、むき実に加工する一連の流れを実際に機械を見ながら説明していただいた。また、そば日本一の牙城では、収穫したそばの品質を保つための乾燥調製について学んだ。続いて雪乃御殿では、650tの雪を貯雪庫で保管し冷房として活用されており、当日は30度越えの猛暑日であったため雪を見た受講生からは、「涼しいから貯雪庫から出たくない」「夏に雪があるとうれしい」「自然を活用していることがとても良い」など貯雪庫内にある残雪に驚いていた。

雨竜町では、穀類乾燥調製貯蔵施設（ライスコンビナート）の見学を行い、乾燥、調製コストの低減、米の品質向上など「うりゅう米」について学んだ。

1期生は施設見学の他、幌加内町の廃校となった小学校を活用した「政和アートフェス」を見学した。当JAの女性部員でもある吉成洋子さんの発案で始まった同イベントは、アート作品を自由に触れることができ、受講生は久々に童心に帰って様々な作品に触れていた。受講生の中には「時間が足りなくプライベートでもう一度行きたい」「レトロな感じがあって落ち着きながら作品が見ることが出来た」など普段触れることの無い芸術を楽しんでいた。

今回は地元の特産品を知ることにも目的のため、北竜直売所みのりっちや雨竜の道の駅に立ち寄り、特産物であるひまわりスイカやメロン、黒千石大豆、生産者が作った野菜などを、コロナ禍であまり外出ができなくなったこともあり皆さん買い物を楽しんでいた。

【営農企画課 佐藤】



令和3年度 新規就農者 激励状贈呈式

農業
振興部



地区	氏 名	地区	氏 名
一已	本瀬 拓斗	雨竜	高田 和樹
	五十嵐一貴	北竜	竹林 博文
	渡辺 颯		井崎 倫義
	北村 勇氣		杉本 直孝
メム	柏木 洋輔		田中 洸
納内	青木 綾汰		近江 章
多度志	竹内 瞳	幌加内	笠井 陽太
雨竜	柴垣 保志		

(敬称略) ※出席者 前列左から1番目:北村勇氣 4番目:渡辺 颯
後列左から1番目:柴垣保志 2番目:笠井陽太 3番目:竹林博文 4番目:青木綾汰
※欠席者の写真(丸枠) 上段左から1番目:本瀬拓斗 2番目:五十嵐一貴 3番目:柏木洋輔 4番目:竹内 瞳 5番目:高田和樹
下段左から1番目:杉本直孝 2番目:井崎倫義 3番目:田中 洸 4番目:近江 章

7月30日、令和3年度 新規就農者激励状贈呈式が行われ、新規参入やUターン、新規学卒など本年度の新規就農者15名のうち6名が出席した。出席者は午前中に、JAの施設見学とJA組織についての講義を受け、午後から激励状贈呈式が行われた。

JA施設見学では、各施設の担当職員の案内で、深川マイナリーや小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設など5施設を見学し、それぞれの施設で集荷されている農産物や施設内部の機械等の説明が行われた。その後、農業振興部職員より「JAという組織の特徴とめざすもの」と題し講義が行われた。

昼食の際は、柏木組合長と岩田専務に同席いただき会食及び懇談を行った。新規就農者たちは日々の営農を話題に意見交換をした。

激励状贈呈式では、役職員が見守る中、柏木組合長から1人1人に激励状が手渡された。柏木組合長は、「地域の方や関係機関との繋がりを大切にし、日々の営農に励んでほしい」と激励の言葉を贈った。

出席者を代表して、竹林博文氏(北竜地区)が「営農技術の発展は著しいですが、それらの情報を生かしてさらなる農作物の品質向上に挑戦していきたい」と力強く決意表明した。【営農企画課 石野】



新 風



新規就農者



氏 名 竹内 瞳 さん

出身地 深川市

趣味 読書、ドライブ

研修先 多度志地区
竹内 誠さん

☆目指す農業

私の家は昔から家族経営の農家で、子どもの頃から家業の手伝いをしてきました。

現在は兄が家を継ぎ、両親が兄を支えていましたが、両親ともに歳を取り、今までの作業が大変そうになっていることを実感したため、一念発起して農家になることを決めました。

今までも農作業を手伝ってきましたが、心機一転して見る作業の細かな気遣いや、天気に合わせた作業進捗など、代々積み重ねられてきた努力や実績を思うと先の長さを感じますが、やりがいを持って進んでいきたいと思っています。

JA空知女性協議会 「アグリセミナー」開催

7月14日、令和3年度JA空知女性協議会主催アグリセミナーが開催され、当JA女性部からは15名が参加した。

開催にあたり、今年は新型コロナウイルス感染防止対策として、当JAはzoomを使用して金融共済深川支所からリモートで参加した。

今回のアグリセミナーは、株式会社UFPE代表取締役 西原憲一氏を講師に迎え「終活・ハッピーエンディングのすすめ」と「元気なうちに理解しておく相続のキホン」について学んだ。

「終活ハッピーエンディングのすすめ」では、終活の本当の意味、エンディングノートの書き方、遺言書との違いなど残りの人生をどのように生きていくか、人生の振り返り方について学び、「元気なうちに理解しておく相続のキホン」では、相続の基本、遺産相続について、遺言でできることできないこと、相続者が最低限の遺産を確保するために設ける遺留分権などについて学んだ。

参加者からは、「エンディングノートや遺言書はいつごろから書き始めたらいいですか」「生きている今絶対にしておくべきことはなんですか」など終了時刻をオーバーする程様々な質問があった。終活はネガティブなことではなく、最後まで自分らしい人生を送るための準備でもあるため、参加者は真剣にセミナーを受講した。



女性部 音江支部

視察研修



JAきたそらち女性部音江支部（三谷好美支部長、部員25名）は、7月27日に石狩方面へ視察研修を行い、部員8名が参加した。

休日にはウニを求めて行列も出来るという「あつた港朝市」や、3年前にオープンした道の駅「あいろーど厚田」のバルコニーから雄大な日本海を望む最高のロケーションを楽しんだ。

午後からは、株式会社ロイズコンフェクトの本社にある「ROYCE' ローズガーデン」を見学した。ローズガーデンは約13,000平方メートルの敷地内におよそ300種類のバラやさまざまな花々が植えられており、7月から9月まで無料開放され隠れた人気スポットとなっている。

支部研修は2年ぶりの実施となり、マスクの着用やこまめな手指消毒、密を避けるなど新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら、日ごろの作業や猛暑の疲れを忘れて楽しみ、部員同士の交流を深め、明日からの英気を養う研修となった。

【深川支所 田中】



大阪いずみ市民生協と オンライン交流会を開催

7月29日、多度志地区が産地指定を受けている大阪いずみ市民生協の理事（15名）と多度志水稻生産協議会（板垣政友会長）・多度志支部女性部（遠藤ひろみ支部長）との交流会がオンラインで開催された。

例年では、大阪から来訪し、圃場視察や交流会が実施されるが、新型コロナウイルスの感染症対策として今年は初のオンライン交流会となった。

営農センター会議室からパールライス西日本、ホクレン、JA米穀課からそれぞれ精米方法、北海道米の特徴や籾貯蔵施設を説明した後に、水田に待機している板垣会長から水稻生育状況の報告を行った。

その後、営農センターで各家庭の自慢の味のおにぎりを持ち寄り「おにぎり交流会」を行った。多度志女性部からは、自家製うめ漬けと筋子おにぎりを紹介し、先方からは、卵焼き、昆布、から揚げの3種類ミックスおにぎりや、たこ焼きおにぎりが紹介された。

また、「重たい苗を女性が運んで、男性は田植機に乗っている。力仕事は男性が向いているのでは？」との質問に対して「家では、男性も女性も容赦なく田植作業をしていますよ」との遠藤支部長の回答に会場は和やかな雰囲気となった。

最後に、遠藤良明多度志地区代表理事から「令和3年産もおいしい「ゆめぴりか」「ななつぼし」をお届けするために最大限努力致します」と宣誓し閉会した。

【深川支所 斉藤】



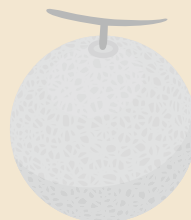
北竜メロン生産組合 真竜小学校などに「北竜ひまわりメロン」贈呈

7月19日、北竜メロン生産組合（高畑克洋組合長、26戸）が北竜町立真竜小学校へ『北竜ひまわりメロン』5玉入り3箱の贈呈を行った。この贈呈は、地元の特産品を地元の子供達に味わってもらうことを目的に毎年行われている。

この日は高畑組合長が小学校を訪れ、「美味しく召し上がって下さい」と同小学校の児童会5名に手渡した。

受け取った児童は「今年も沢山のメロンを頂きありがとうございます。みんなで美味しく食べます」と感謝の言葉を述べた。

また同日に、同町立北竜中学校にも贈呈を行った。





青年部幌加内支部 視察研修

JAきたそらち青年部幌加内支部（中川祐哉支部長、部員26名）は7月18日から19日にかけて視察研修を行い11名が参加した。

18日には、帯広市のばんえい十勝競馬場にて、青年部、そば生産者部会、きたそらち米、幌加内町のPRとして第1レースから4レースまでの協賛レースを開催した。

この日、日中の気温が37度を超す猛暑日となった帯広であったが、白熱したレースが繰り広げられ、協賛レースも大いに盛り上がり青年部員も大満足の様子だった。

19日には、大空町女満別にあるオホーツク管内14農協で生産される豆類の調製及び貯蔵を担うオホーツクビーンズファクトリーを視察した。

輪作体系の重要性とブランド構築に向けた取り組み、安定した豆類栽培が継続できる内容を熱心に学び部員達には有意義な研修であった。



【幌加内支所 小野】



北空知 広域連

北育ち元気村
花き生産組合

＊花き品種展示会を開催＊

8月19日、北空知広域連花きセンターで、北育ち元気村花き生産組合主催による花き品種展示会が、開催され、JAきたそらち・JA北いぶきの花き生産者約44名が参加した。

展示会はマスクの着用の徹底、消毒液の設置、3密の回避等、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで開催された。

展示会では各種苗会社6社による品種展示会が開かれ、元気村の主力品目であるスターチスをはじめ、ヒマワリやダリアなどのおすすめの品種が展示され、訪れた生産者はメーカーの担当者より品種特性等の説明を受けた。

北空知広域連の職員は、「来年度の生産に役立てていただきたい」と話す。



金融 共済部

北 竜 支 所 年 金 友 の 会

パークゴルフ大会

7月20日、北竜支所年金友の会が第20回親睦パークゴルフ大会をJA役職員含め37名の参加のもと北竜町ひまわりパークゴルフ場にて開催した。

当日は気温が30度近くまで上がったものの、時折心地よい風が吹く中、4コース36ホールにて行われた。

参加者は緑が映える難関コースで腕を競い楽しくプレーした。

※成績は下記のとおり

【金融共済北竜支所 松井】



男性	優勝 田中 盛亮 さん	準優勝 干場 正 さん
女性	優勝 大路 恵津子 さん	準優勝 四辻 明子 さん
ホールインワン	大路 恵津子 さん	桜庭 靖子 さん

総務部

深川西高等学校 フィールドスタディを開催

7月20日、地域の高校生を対象に、企業が取り組む課題やサプライチェーンなどを学ぶことを目的としたフィールドスタディを開催し深川西高校の8名の生徒が参加した。

先に企業紹介として、JAの役割や事業内容、地域との関わり、JAが抱えている課題、地域が抱えている課題、実際に働いているOB・OGの紹介等について座学の後、深川マイナリーおよび多目的倉庫、精米施設の見学を行った。施設では籾の状態から玄米、白米になる一連の流れについて説明を行い、基幹産業である農業およびお米の生産から流通について深く学んでいただいた。

学生からは課題解決のために取り組んでいること、JAがなければ地域や社会にどんな影響があるのか等の質問を受け、地域農業に対する関心の高さを同わせた。

今後、9月にはクラーク高校の生徒を対象にフィールドスタディを実施する予定。

【人事課 中川】



JA金融共済本所 移転工事に係る ホクレンショップ イチヤン店の休業について

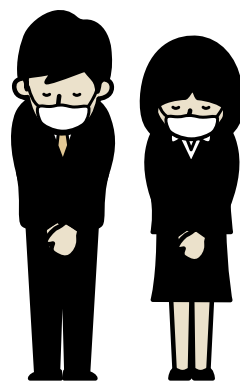
現在のJA金融共済本所（深川市北光町）をホクレンショップ イチヤン店内に移転することに伴い、以下の期間でホクレンショップ イチヤン店を休業いたします。

大変ご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願い申し上げます。

ホクレンショップ イチヤン店休業期間
9月27日（月）～10月20日（水） 予定

※10月21日（木）～ リニューアルオープンセールを実施予定

JA金融共済本所 リニューアルオープン
12月6日（月） 予定



転載不可

農業振興部からのお知らせ

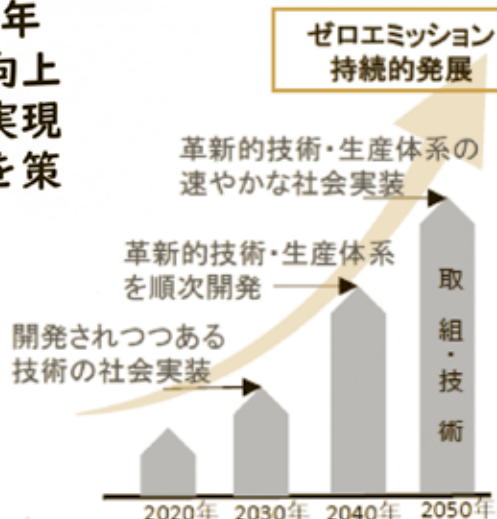
農林水産省からのお知らせ

みどりの食料システム戦略



我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化等の課題に直面しており、地域の将来を見据えた持続可能な食料システムの構築が急務となっています。

このため、農林水産省では、令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。



詳しくは
こちら ➡

みどりの食料システム戦略

検索



<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

➡ 北海道農政事務所の取組はこちらから

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kikaku/midori_hokkaidou.html

問合せ先 農林水産省北海道農政事務所企画調整室 ☎ 011-330-8801
農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課 ☎ 03-3502-8056
(問合せメールフォームURL)

✉ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/4762.html>

農林水産省



北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道の食農教育・社会貢献活動シンボルマークが決定!!

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、SDGsを基本方針とし食農教育・社会貢献活動をさらに発展させていくことを目的として、今年3月に新たに相互協力協定を締結しました。今年4月からは、新たな連携活動の象徴となるシンボルマークの公募を行い、約3カ月間で、道内外から81作品もの応募をいただきました。

その中で最優秀賞に輝いたこちらのシンボルマークは、長崎県在住の30代女性がデザインしたもので、今後、「コンサ・土・農園(コンサドファーム)」や「みんなのよい食JA親善大使」など、様々な活動で使用される予定です。

直近の連携活動としては、「コンサ・土・農園」で収穫した野菜のチャリティー販売を計画しています。トウモロコシは8月下旬・ジャガイモは9月下旬の北海道コンサドーレ札幌のホームゲーム時に、札幌ドームで販売予定です。

【連携活動については、本会SNSでも情報を発信しています!】

Twitter: @JA_HOKKAIDO_PR / Instagram: @ja_dosanko / Facebook: @jahokkaido



JA 北海道信連



JAバンクで年金をお受取りされている方を対象に、窓口で「招福ようかん」をプレゼントする「年金サックスプレゼント」を開催しています。今年は多くのJAで7月1日から、また、一部JAでは8月1日以降からお渡ししています。さらに、北海道警察とも連携して、招福ようかんパッケージに“特殊詐欺被害にあわれないよう注意喚起の標語”も印刷し配布しています。

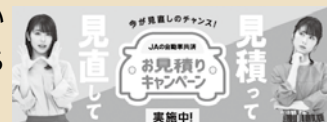
JAバンク北海道は、地域住民の暮らしや財産を守る地域貢献活動に引き続き取組んで参ります。



JA 共済連北海道



JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しております。インターネットに開設したキャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で総計13,000名様に家電などの素敵な賞品が当たります。キャンペーンは令和4年3月31日(木)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております!



JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp/>

ホクレン



北海道神宮例祭に合わせ大鏡餅を奉納

北海道もち米団地農協連絡協議会(事務局:ホクレン)は6月11日、北海道神宮例祭に合わせて、日本一の生産量※を誇るもち米産地として、疫病退散(新型コロナウイルスの早期収束)と、もち食文化の振興も含めた北海道の農林水産業・経済の持続的な発展を祈願して、北海道産「はくちょうもち」を使用した総重量120kg級の特大鏡餅を北海道神宮へ奉納しました。



※令和2年産米農産物検査実績(2021年3月31日時点)

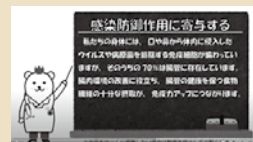
JA 北海道厚生連



帯広厚生病院のYouTubeで「管理栄養士のお昼ご飯 職場飯編」の動画を公開しております。

管理栄養士が教える栄養バランスの良いお弁当の作り方、手抜きの方法など、普段お弁当作りをされている方必見の内容です!

是非ご覧ください。



↑動画内のワンシーン



↑このサムネイルが目印です!

紹介動画へのQRコードはこちら→



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。
AGRIACTION!
HOKKAIDO



JAグループ北海道からのお知らせ



**ヨーグルトで北海道♪
ライスサラダ**

材料 (2人分)
よつ葉北海道十勝生乳100とろ
つとなめらかヨーグルト…大さじ4
【A】
ごはん…100g
ツナ缶…1缶
ミニトマト…4個

北海道コンサドーレ札幌選手寮

しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は

食農パートナーです！

Vol. 2

ヨーグルトで北海道♪ ライスサラダ



レシピの特徴
食感の良い刻み野菜とツナを合わせ、オリーブオイル、塩、コショウ

作り方
「よつ葉北海道十勝生乳100とろ
つとなめらかヨーグルト」を使います。
①ごはんは冷まし、ツナ缶の油は切る。
ミニトマトは1/4の大きさに切る。
②キュウリ、パプリカは1cmの角切り、玉ネギはみじん切りにする。
③【A】をすべて混ぜ合わせ、ヨーグルトを加えてさつと和える。

キュウリ…1/2本 (50g)
パプリカ…1/4個
玉ネギ…大さじ1 (10g)
刻みパセリ…小さじ2
塩…小さじ1/4
オリーブオイル…小さじ1
コショウ…少々

でシンプルに味付けし、まろやかな「よつ葉北海道十勝生乳100とろつとなめらかヨーグルト」を加えることで、さっぱりとクリーミーなドレッシングをかけたような味わいのサラダです。

北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士 小松先生のコメント

練習や試合で失われた炭水化物やカルシウムの補給に！ ツナは、たんぱく質とビタミンB6を含んでいるので、リカバリーメニコーに使用します。練習や試合後、夕食まで時間があるときのおやつや、夕食の一品に加えてはいかがでしょうか。皆さんもぜひ、お試しください。
3回シリーズでお届けした「特別企画」は、常にカルシウムが不足しがちなジュニアアスリートにとって、ピッタリなレシピでした。トップアスリートを目指すためにぜひ、ご活用ください。

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、
相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています！



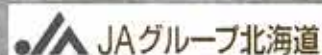
トファーム
●コンサ・土・農園



●よい食JA親善大使

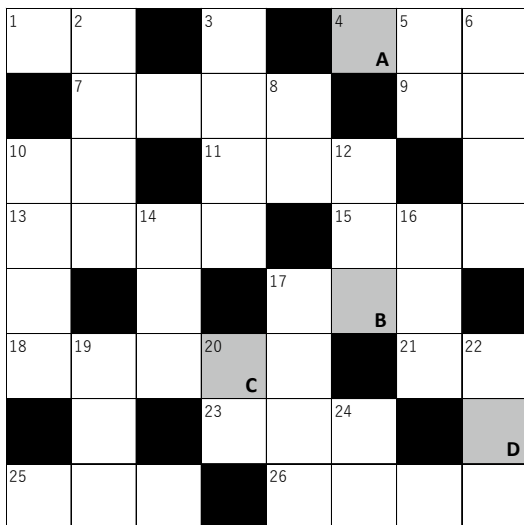


JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、
北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

7月号の正解は

「ソウメン」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 板垣 初恵 様
深川市 太田 輝己 様
北竜町 山下 領子 様

【タテのカギ】

- 2 楕円形のボールを使うフットボールの一種。
- 3 こげ茶色の苦みの強い飲み物。
- 5 植物が育つ上で必要。地。土壌。
- 6 出入り口の戸や窓を閉め、鍵などをかけること。
- 8 ある物事を職業にしている人。本職。⇒アマチュア
- 10 女性が結婚して夫の家に入ること。「狐の○○○○」
- 12 夏のまっさかり。
- 14 遺体を焼いて残った骨をひろって葬ること
- 16 物を擦り合わせる事
- 17 場所が分からない人を導いていくこと
- 19 特定の分野で使う言葉。「専門○○○」
- 20 金銭や財産などを公共の団体や福祉施設へ無償で提供すること
- 22 魚のすり身に卵・小麦粉、調味料等をこね合わせ丸めて茹でた食べ物
- 24 できあがった物の状態。「○○ぐあい」「○○ばえ」

【ヨコのカギ】

- 1 表の反対
- 4 結婚した男女のうち、男の人を指して言う言葉
- 7 集団。仲間。「アイドル○○○○」
- 9 都道府県の行政を統括・代表する長
- 10 前もって準備しておくこと。「○○校」
- 11 広い部屋・座敷
- 13 物を作った会社。製造元。「自動車○○○○」
- 15 標準語とは違うある地方特有の言い方・発音。方言。
- 17 気温や温度が高くて暑いこと
- 18 見物したり、物を使った時などに払うお金
- 21 細長い棒状で断面が丸く、中が空洞になっているもの「竹○○」
- 23 船が出ること。出航。出帆。
- 25 輪の形をしたひも状のゴム
- 26 呼吸が苦しくて、息がはあはあすること

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切9月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和3年11月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課

FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

八月俳句

●土筆俳句会

花火師の影追ふ煙や草の闇
天に謝す戦なき世の葉月かな
塩味の利いた枝豆とまらぬ手
子等の声四方に澄みて秋來たる
ゴム長も灼けつく畑草の風ぐ
汗煌るオリンピックのラストラン
この時期は汗も塩味の調味料
蝶柄のゆかたの揺るる子等の夜
月見豆そのままそこにかぐや姫

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
小橋 厚子

●「道」俳句会 北竜支部

あきつ田のドローンが飛ぶミニ宇宙
一音の交響曲や落し水
父の忌を目安に大根蒔きにけり
苛立ちの暑さ気急ぎ牛の声
五輪の火遠き村なり稲の花
稔り田や亡父の破帽納屋の角
夕焼雲夫の吐息と酒の色

山本 玲子
山岸 正俊
吉尾 広子
山下 好晴
阿部れい子
宮脇美和子
佐藤美智子

●雨竜俳句会

をちこちに飢ふへくる登山口
おどろきは夫の名で着く夏見舞い
ウィルスもここまで来ぬと夏の月
かき氷まず子の口へ運びけり
寝る足の行き場のなくて熱帯夜
密を避け庭で子供とキャンプの夜

有田 茉莉
北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

第8回理事会〈令和3年7月30日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 第1四半期随時監査報告について
3. 内部監査報告について
4. 組合員の加入脱退について
5. 財務報告及び事業実績について
6. 固定資産の取得・修繕について
7. のみり監査法人期中監査Ⅰ経過概要報告について
8. 令和2年度 農協経営分析について
9. 令和2年度 連合会・関係団体の概況について
10. JAグループ北海道不祥事ゼロ運動要領について
11. 職員の人事及び業務事故について
12. 第30回 JA北海道大会組合員組織討議の実施について
13. 貸出金の貸付報告について
14. 令和3年度 長期共済一斉推進実績について

議案第1号 組合員の出資金減口について

議案第2号 固定資産の取得について

議案第3号 貸出金の貸付決定について

15. 令和3年産米の「生産の目安」並びに「緊急深掘り対策」の取組み状況について
16. 令和3年度 「横串を入れた実践活動」全戸巡回の実施について
17. 令和3年度 担い手PTの活動について
18. 令和3年度 主要農作物の生育概況について
19. うるち米を巡る情勢について
20. 令和3年産 うるち米早期契約締結内容について
21. もち米を巡る情勢について
22. 米在庫状況について
23. 令和2年産 飼料用米最終精算について
24. 販売未収金について
25. 畜産物の販売実績について
26. 青果・花き集荷販売実績について
27. 経済部事業実績について

議案第4号 クミカン貸越極度額の変更について

議案第5号 理事に対する貸出承認について

※今月の健康百科は休載いたします。



組合員の動き

(令和3年7月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,339	13	33	1,319
	団体	91	3	0	94
准組合員	個人	5,703	46	25	5,724
	団体	274	1	0	275
正組合員戸数		959	4	24	939



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和3年7月実績

○累計 (R2.12~R3.7)

発電電力 **70,196kWh**

発電電力 **365,992kWh**

計画対比 + 22,572kWh

計画対比 + 82,997kWh

前年対比 + 3,781kWh

前年対比 △ 7,526kWh

備えていますか？

台風や自然災害に

平成28年度に北海道へ被害をもたらした主な台風

台風11号

台風7号

台風9号

台風6号

台風10号

建物更生共済



JAの建物更生共済「むてきプラス」

火災・自然災害や地震からお守りします。



お問い合わせは



本 所 TEL 0164-22-6619
音江支所 TEL 0164-25-1111
深川支所 TEL 0164-22-2171
納内支所 TEL 0164-24-2211

多度志支所 TEL 0164-27-2111
雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
幌加内支所 TEL 0165-35-2024